



(C)The Kuwait Environment Protection Society

(クウェート環境保護協会)

クウェート環境保護協会が始めた深海探索のための自動推進潜水装置

バードライフ・ニュース概要 第16号

2009年8月17日

潜水チームが探索機をテスト:

クウェート環境保護協会(KEPS: クウェートのパートナー)の潜水チームが深海探索と資料収集活動に使用する自動推進潜水装置の立ち上げに成功しました。「テストは装置の効果を保証するためプールで行われました。」と KEPS の海洋活動部長のワリード・アリ・シャッティは言いました。「この装置の導入目的は潜水チームがボランティアで行う海洋での作業をより効率的に出来るようにするためです。」この潜水艇のデザインは16世紀に水中での探検を行うために開発された初期の発明品の一つ、'ダイビング・ベル'を元にしています。装置は重量が60kgあり、海床が綺麗に見えるようにガラスのカバーが付いています。自動的に推進し、水中を移動する際に上方や下方へ動ける装置も付いています。

科学者がアラスカで8000マイル彼方からのタグを付けたシギを発見:

北極圏の西部アラスカでシギ・チドリ類を研究している科学者たちが先ごろ 8,000 マイル(12,900km)も離れたオーストラリア・ビクトリア州から飛来したタグを付けたオグロシギを発見した。「放鳥された場所から文字通り数千マイルも飛んできたバンディングされた鳥を発見するというのは極めて珍しいことです。」とこの鳥を観察した野生生物保護協会の科学者スティーブ・ザック博士は言いました。渡り性シギ・チドリ類の多くの種が減少しています。「オーストラリアからのオグロシギ、アジアからのハマシギ、南米からのヒレアシトウネンなどのシギ・チドリ類が越冬地、越夏地でさまざまな脅威に影響されています。この高度な渡り性を持つ鳥のグループを保護するのは本当に世界全体で挑むべき問題です。」

南アフリカでの野鳥保護に対する企業による革新的な発言:

南アフリカで長年に亘り自然保護に協力してきた Oppenheimer & Son 社が先ごろ同社の全従業員約 100 人をバードライフ南アフリカ(南アフリカのパートナー)の会員に登録するという革新的な一歩を踏み出しました。「私たちはこの行動が他社にも波及してくれることを望んでいます。鳥とかかわりを持つということは、自然や生息環境ともかかわることになるからです。」とオッペンハイマー女史は言いました。個々のメンバーはバードライフ南アフリカに対して同国の鳥とその生息地の保護についての意見を述べます。「私たちは Oppenheimer & Son 社の社員 100 人が会員になってくれたことを喜んでいきます。」とバードライフ南アフリカの代表マーク・アンダーソンは言いました。